



2021年3月19日

各 位

会社名	名鉄運輸株式会社	
代表者名	代表取締役社長	内田 亙
	(コード番号9077 名証第二部)	
問合せ先	執行役員グループ管理本部	有馬 正純
	副本部長兼企画部長	
	TEL (052)935-5721	

名鉄運輸グループ長期ビジョン「Koguma Sustainable 2030」および
名鉄運輸グループ中期経営計画 2023 の策定について

当社では、このたび、2030年に向けた長期ビジョンを策定するとともに、2021年度から2023年度までの3ヵ年計画である名鉄運輸グループ中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせします。

記

1. 名鉄運輸グループ長期ビジョン「Koguma Sustainable 2030」

(1) 策定の背景

当社グループは、前中期経営計画（2018年度～2020年度）において、「安心と信頼のこぐま品質を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎とする」の基本方針のもと、「経営力」、「人材力」、「ネットワーク力」の3項目の各施策を推進し、事故三悪撲滅委員会の設置による安全に関する取組みのグループ全社への展開、グループオフィス（東京営業部）の移転リニューアル、奈良大和支店の新設開業、名鉄トラックターミナル関西の移転開業、日本通運株式会社との全国各地域での協業開始などを実行しました。

今後、当社グループを取り巻く事業環境は、人口減少等による国内需要の頭打ち、一方で新しい生活様式による更なる高まり、技術革新の進展など、大きく変化することが予想されます。このような環境下においても、当社グループが持続的に成長を目指すためには、自動運転・DXの活用を含め、従来からの領域に捉われない事業展開が必要であり、また、ESG・SDGsをより重視した経営が求められていると考え、今回、長期ビジョンを策定することといたしました。

(2) 名鉄運輸グループ長期ビジョン「Koguma Sustainable 2030」の内容

培ってきた「こぐま品質」と地域に密着した各社の強みを結集したグループ総合力および事業基盤を強化し、区域・倉庫・3PL等の事業を拡大します。

特積事業のコスト構造の抜本的改革を進め、労働生産性の向上を図る一方、区域・倉庫・3PL等の事業の拡大を図り、売上高1,500億円を目指します。

2. 名鉄運輸グループ中期経営計画2023の概要

新中期経営計画は、名鉄運輸グループ長期ビジョン「Koguma Sustainable 2030」の実現に向けた最初の3ヵ年計画となります。

新中期経営計画では、コロナ禍からの回復期と位置づけ、労働生産性（一人当たり付加価値）を高めることで、「特積事業の融合化モデル・DXによる労働生産性向上」、「人事制度・職場環境の改善」、「持続的な物流ネットワーク」といった改革のトライアングルを回し、中長期的な成長・存在価値向上を実現します。

(1) スローガン

- ☛Connect・・・特積事業が区域等の多事業と繋がり、融合化したビジネスモデルへと進化する
- ☛Support・・・社員が誇りをもって日々成長し合い、お客様にとって、なくてはならない存在となる
- ☛Inovate・・・自動運転・DXを推進し、物流の未来像への挑戦する

(2) 重点テーマ

- ①特積事業の融合化モデルへの進化・DXによる労働生産性向上
- ②人事制度・職場環境の改善
- ③持続的な物流ネットワークの構築

※詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上